



## こどもの交通事故を防ぎましょう

下校中や遊びにでかけた帰り道など、子どもたちだけで外出した際に交通事故に遭うケースが増えています。そして、歩行者の事故のうち最も多いのが7歳児の事故です。特に小学1年生は、道路上の危険に関する知識が少ないうえに、保護者と離れて子ども同士で行動する機会が増えるため、交通事故に遭う危険性が高まります。

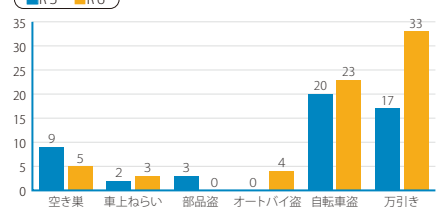
### 保護者やドライバーの皆さんへお願い

保護者の皆さんは、道路の飛び出しの危険性や安全な道路の渡り方など、交通安全に向けたルールを教えてください。

ドライバーの皆さんは、子どもの動きに注意しながら運転し、交通事故を防ぎましょう。



小郡警察署管内の犯罪・交通事故の発生状況 (令和6年5月末現在)



刑法犯発生件数 128件(-8件)

### 交通事故(人身事故)発生状況

発生件数	75件(-14件)
死者数	0人(-1人)
負傷者数	101人(-7人)

( )は、  
昨年同月比  
を示す

## こちら119

久留米広域消防本部 三井消防署  
☎72-5101 ☎72-5948

毎月9日は  
防火の日

## 水の事故に注意!

夏は、釣りや水遊びなどで溺れる事故が多く発生します。特に子どもの水の事故を防ぐために、次のことを心がけてください。



### 保護者の人へ

- 子どもだけで釣りや水遊びをしないように、家庭内で話し合う。
- 「水の事故の怖さ」や「命の大切さ」を日頃から一緒に考える。
- 水遊びをするときは、絶対に子どもから目を離さない。
- 釣りや水遊びをする時は、できる限りライフジャケットを着用させる。

### 地域の人へ

- 子どもだけで釣りや水遊びをしていたら、迷わず注意する。
- 地域内の危険な水場(河川・池・用水路など)へは近づかないよう、呼びかける。

## 消費生活相談室

小郡市消費生活相談室 ☎27-5188

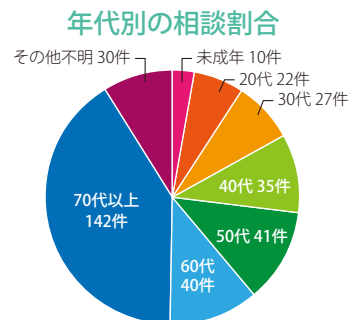
窓口開設日 毎週月~金曜日  
9時~12時、13時~16時

## 令和5年度は、こんな相談がありました

令和5年度の消費生活相談室への相談件数は347件で、高齢者の相談件数が全体の52%と約半分を占めました。販売形態では通信販売でのトラブルが最も多く、スマホを使ったインターネットでの化粧品や健康食品などの定期購入トラブルが増えています。

### 消費者へのアドバイス

- 高齢者宅にガス給湯器の点検と称して業者が訪問。機器の交換が必要と勧誘し、高額な契約をするトラブルが続きました。訪問販売はクーリング・オフで解約ができます。
- SNSの広告で見た化粧品やサプリメントを「お試し価格」で注文。その後、定期購入と分かり解約の電話をするが繋がらなかったり、解約を受け付けてもらえなかったりするなどの相談が増えています。購入する時は、最終確認画面をしっかりと確認しましょう。



困ったときは、すぐ相談!